

会 議 概 要

審議会等の名称	喜多方市下水道事業経営等審議会
会議の名称	令和5年度第3回会議
開催日時	令和5年12月19日（火）13時15分～15時47分
開催場所	喜多方市役所 ホール棟2F 大会議室
出席者	委員10名 横山委員、坂内委員、遠藤委員、遠山委員、吉田委員、 阿部委員、遠藤委員、渡部委員、佐藤委員、白井委員 事務局5名（所管課：建設部下水道課） 馬場建設部長、真部下水道課長、戸田下水道課主幹、 尾崎総務係長、百瀬主査
会議内容	1 諮問 下水道使用料のあり方について 2 議題 (1) 諮問事項 下水道使用料適正化（案）について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他
配布資料	令和5年度喜多方市下水道事業経営等審議会第3回会議次第 資料1 令和5年度喜多方市下水道事業経営等審議会第3回会議 資料 資料 資料2 当日配布資料別紙1 資料3 当日配布資料別紙2

◎第3回会議 会議要旨

委員：前回の案より現実的ですが、20%の値上げは市民にとって負担が大きい、段階的に引き上げる方法も検討すべき。

委員：資本的収支は含まれないのか。また、独立採算制を掲げながら4条の費用は基準外繰入金が必要になる。この点についてどう考えるか。

事務局：今回の検討は維持管理費のみを対象としている。資本費まで含めると市民負担が大きくなるためです。

委員：県内の類似団体の経費回収率の平均値とのことであるが、最大値と最小値で大きな開きがある。目標とする数値であるのであれば、しっかりと根拠を持つことが大事である。

委員：累進度はすべての案で現行より低く抑えられているため公平性を比較するのは検討方針と異なるように思える。

事務局：下水道使用料も水道料金と同じく累進度を設けています。算定要領では累進度は抑えるべきとされており、現行より高くないように考慮しています。4案を比較する上で累進度も検討材料としており、現行の累進度を維持または小さくする方針で設定している。

委員：少量使用者、大量使用者への影響という観点で、具体的な配慮が4案にどのように反映されているのか。

事務局：基本水量を設けることで少量使用者の負担を軽減しています。基本使用料で賄うべき費用を設定し、少量使用者への配慮をしています。累進度を抑えることで大量使用者との公平性も図っている。

委員：基本使用料の適正化率はかなり高い、少量使用者の負担増加に対する説明が必要である。

委員：料金の改定はやむを得ないものの、大口利用者の負担軽減が主のように見える。一般家庭への影響について再考してほしい。

委員：経営の健全化には未加入者対策を進めることが重要だと思う。